公表

第31回技能グランプリ「建具」職種競技課題

次の競技時間、注意項及び仕様、支給材料に従って課題図に示す２枚屏風を製作しなさい。

１、競技時間　12時間

（延長時間はありません）

２、注意事項

① 図示されていないものは、慣例に従い製作する。（糸面など）

② 割り込み、墨付けはすべて競技場で行う。

③ 原寸図の型板は使用禁止とする。

④ 図面上の○印、◇印、△印同志は同寸法とする。

⑤ 安全には十分に配慮する事。競技時は作業服、帽子等を着用するものとし木工機械（テーブル傾斜丸鋸盤）や電動手持ち工具の使用に当たっては保護メガネを使用し、競技委員の指示に従い、安全に作業を行う事。

⑥ 木工機械（テーブル傾斜丸鋸盤）の使用に関してはホゾ引きのみとし、溝加工は電動小穴カッター（溝切りカッター）又は電動トリマを使い製作する。
工具用の刃物、治具などは持参する事。部材を固定した上で安全確認をし両手で電動小穴カッター、電動トリマを使用する事。

⑦ 墨付けはハタ金を使用して良いが組み立てはハタ金を使わず組み立てる事とする。

⑧ 手工具は指定の物以外持参しても良いが使用にあたっては競技委員が判断する。

３、仕様

① 機械作業のホゾ穴は、框周り・兜巾桟・ねじ組組子・香図組子・香図付子周り・土居とし、ホゾは框・上桟・中桟・下桟・兜巾桟とする

② 上桟　上桟と框の取り合いは箱留め接ぎ、及び腰肩止めホゾとする。
なお、箱留め接ぎの加工にあたっては電動ドリルの使用も許可する。

③ 框　框と横桟の取り合いは、図示に従い、製作する。

④ 香図部　90度折れ曲がり部は突合せとし組手加工、ホゾ加工は手加工とする。
付子は3枚留め加工とし上下横ホゾを伸ばして框、立束のホゾ穴に組み込みとする。留めホゾ伸ばしホゾ幅は4.5mm/6mm
どちらでもよい。

⑤ 上下横桟　框と横桟の取り合いは、腰型とし角面及び銀杏面取り加工とする。

⑥ 斜め横桟　框と横桟の取り合いは、直角にホゾ加工とし片方9mm角面合わせととする。

⑦ 立束　中桟との取合いは、兜巾面合わせとし、横桟にホゾ射しとする。

⑧ 下ねじ組　マス格子を本捻組（地獄組）とし額のホゾ穴に組み込む。

後部に杉板 6mm を組み込みとする。額本体は建具枠組立時にともに組込みとする。

⑨ 土居　土台と框の取り合いは框の下ホゾを、土台のホゾ穴を抜きホゾにクサビ締めとし接着剤は使用しない。

⑩ 束・桟　束と桟の取り合いは、兜巾面を取り、横通し立ホゾとする。

⑪ 額・腰板　額は捻じ組（地獄組み）を納め 留は三枚に組みビス止めにする。腰板は額内部組み込みとする。

⑫ 面　図示されたものはすべてそれに従い製作する。平几帳面及び銀杏面は手鉋、手加工とする。

⑬ 留型　箱留型は使用しないものとする。

⑭ 仕上げ　仕上げは鉋仕上げとしペーパー掛けはしないものとする。

⑮ その他　接着剤・釘・細ビスは、各自で持参する。トリマスタンドは持参しても良い。

4、　支給材料

部材名	長さ	見付	見込	数	材質	備考
框	1530	50.5	40.5	2	米ヒバ	
框	1530	40.5	40.5	2	〃	
上桟	700	50.5	40.5	2	〃	
下桟	600	34.5	40.5	2	〃	
土台	700	50.5	46.5	2	〃	
中桟	600	40.5	40.5	2	〃	
兜巾横桟	600	35.5	35.5	4	〃	
兜巾斜め中桟	400	35.5	35.5	2	〃	
兜巾立束桟　短	300	35.5	35.5	6	〃	4 本は切断使用
兜巾立束桟　長	800	35.5	35.5	2	〃	
香図組子	850	4.5	14	25	〃	各自切断、仕上済
香図付子	800	9.5	15.5	6	〃	
ねじ組組子	600	14	10	9	〃	立横取り、仕上済
ねじ組額	850	17.5	22.5	4	〃	立横 2 本取り
立腰板	800	240	6.5	1	杉	左右 2 枚取り
腰板	600	310	6.5	2	杉	上下 2 枚取り
ほぞ穴ゲージ	300	39	39	1	米ヒバ	
クサビ	切り落とし使用					
平丁番（中厚）	ステンレス 76mm/ 2 枚支給					